園芸クラブ部会

酒井辰雄　部会長

サポートの会

園芸クラブ部会　活動報告



園芸クラブ部会　部会長
酒井　辰雄
(４４期園芸学科A)

令和８年８月２８日

園芸クラブ部会　活動報告

1.目的

草津キャンパスの美化活動を通じて地域社会に貢献

⇨ **除草、下草刈り、枝切り、枝揃え、剪定**



園芸クラブ部会　活動報告

2.活動の流れ

活動日

・毎月、原則、第一月曜日（1月と8月は休会）⇒年10回
・毎月、事前に活動案内をクラス代表経由でメール送信

活動時間

9時30分～11時30分（休憩等で実活動時間1.5時間）
・最初に教室で、活動場所・注意事項の説明
・顧問の指導
・その後、現場にて作業開始

その他

・道具類は概ね事務局で準備
・ボランティア保険に加入
・活動場所は、顧問、事務局と相談

園芸クラブ部会　活動報告

3.会員数

・総数　１０２名　男性　７４名　女性　２８名
　45期　２４名　男性　１４名　女性　１０名
　44期　２７名　男性　１８名　女性　９名
　43期　２６名　男性　２０名　女性　６名
　42期以前　２５名　男性　２２名　女性　３名

4.活動実績（10月　～　9月）

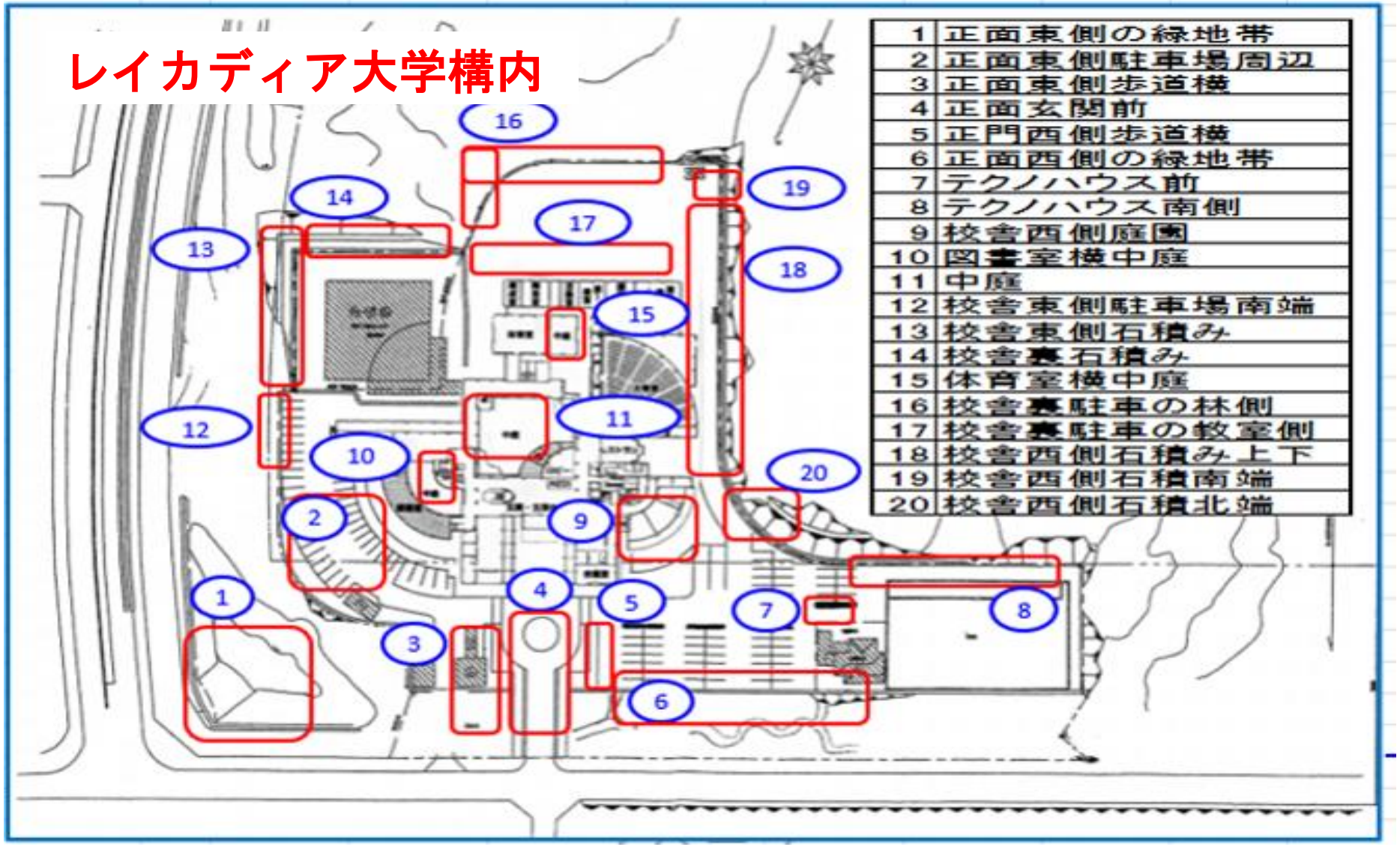
・活動参加状況（10回）

2025年10月	40人	2026年4月	42人
2025年11月	37人	2025年5月	38人
2025年12月	41人	2025年6月	36人
2026年2月	43人	2025年7月	34人
2026年3月	43人	2025年9月	36人

延べ活動人員　390人･日　総活動時間　585人･時間

園芸クラブ部会　活動報告

5.活動場所（年間）



園芸クラブ部会　活動報告

6.活動の様子　　12月

校舎裏駐車場の雑木林側





正面西側緑地帯





園芸クラブ部会　活動報告

6.活動の様子　　2月

西側道路斜面





図書室横の中庭





園芸クラブ部会　活動報告

6.活動の様子　　3月

12月の活動にて、草刈機による会議室窓ガラスの打痕事故 発生

活動の基本 “安全･健康が第一” の再徹底を行う

⇨ 作業前のラジオ体操、安全マニュアル確認、機具整備



作業前のラジオ体操



草刈機の安全点検（役員にて）

園芸クラブ部会　活動報告

6.活動の様子　　3月

安全マニュアル作成

園芸作業 安全対応マニュアル

1. 目的

本マニュアルは、園芸作業に従事するすべての人が安全に作業を行い
を防止することを目的とする。

2. 基本安全方針

- 無理をしない、安全を最優先とする。
- 危険と思われる作業は必ず複数人で行う。

3. 作業前の準備

3.1 服装・保護具

- 作業用手袋（切創防止仕様推奨）
- 長袖・長ズボン（肌の露出を避ける）
- 滑りにくい靴
- 帽子（熱中症予防）
- 必要に応じて保護メガネ・マスク

3.2 健康チェック

- 体調不良時は無理に作業しない。
- 水分・休憩を確保できる環境を整える。

3.3 道具・設備の点検

- 刃物（ハサミ、ノコギリなど）は刃の欠けや緩みがないか確認。
- 電動工具はコードやバッテリーの状態を確認。
- 脚立は安定性・破損の有無を確認。

4. 作業中の安全対策

4.1 基本動作

- 道具は人に向けて扱わない。
- 周囲の人との距離を常に確保する。
- しゃがむ・持ち上げる動作は無理のない姿勢で行う。

4.2 刃物使用時

- 切断方向に人の体を置かない。
- 使用後は必ずカバーを付ける、または安全な場所に収納。

4.3 脚立・高所作業

- 平らで安定した場所に設置する。
- 一人作業は禁止。必ず支える補助者を置く。
- ヘルメットを着用する。

4.4 熱中症対策

- こまめな水分補給。
- 直射日光下での長時間作業を避ける。
- 具合が悪くなったら直ちに作業を中止。

4.5 草刈機使用時の安全対策

- **保護具の着用**：フェイスガードまたは保護メガネ、イヤーマフ、防刃手袋、長袖・長ズボン、安全靴を必ず着用する。
- **作業前点検**：刃の摩耗・欠け、ナイロンコードの長さ、燃料漏れ、ボルトの緩みなどを確認。
- **周囲確認**：5m 以内に人がいないことを確認し、窓ガラスや車両など飛散物で損傷しうる物への距離を確保する。
- **姿勢と動作**：腰をひねらず、足を安定させてゆっくり左右に振る。無理に機械を押し付けない。
- **刈払い方向**：飛散物がオペレーター側に戻らない方向へ刈る（基本は右から左へ）。
- **エンジン停止の徹底**：刃が詰まった時、移動時、燃料補給時、休憩時は必ずエンジンを停止する。
- **作業場所の分離**：草刈機を使用する作業場所は、他の作業者の作業場所から分離する。。
- **危険物・障害物の確認**：石、金属片、枝など飛びやすい物は事前に除去。また斜面では足元の安定を最優先とする。

5. 作業後の安全確認

- 道具を清掃し、所定の場所に収納する。
- ゴミ・落ち葉・刃物など危険物の置き忘れがないか確認。
- 作業中に異常や破損があった場合は、責任者へ報告。

6. 緊急時対応

6.1 ケガをした場合

- 出血がある場合は圧迫止血を行い、必要に応じて救急要請。
- 傷口を水で洗浄し、応急処置を施す。
- 重大な事故は直ちに作業を中止し、安全を確保した上で対応。

6.2 熱中症が疑われる場合

- 涼しい場所に移動させる。
- 水分・塩分補給を促す。
- 意識がない場合は救急車を要請。

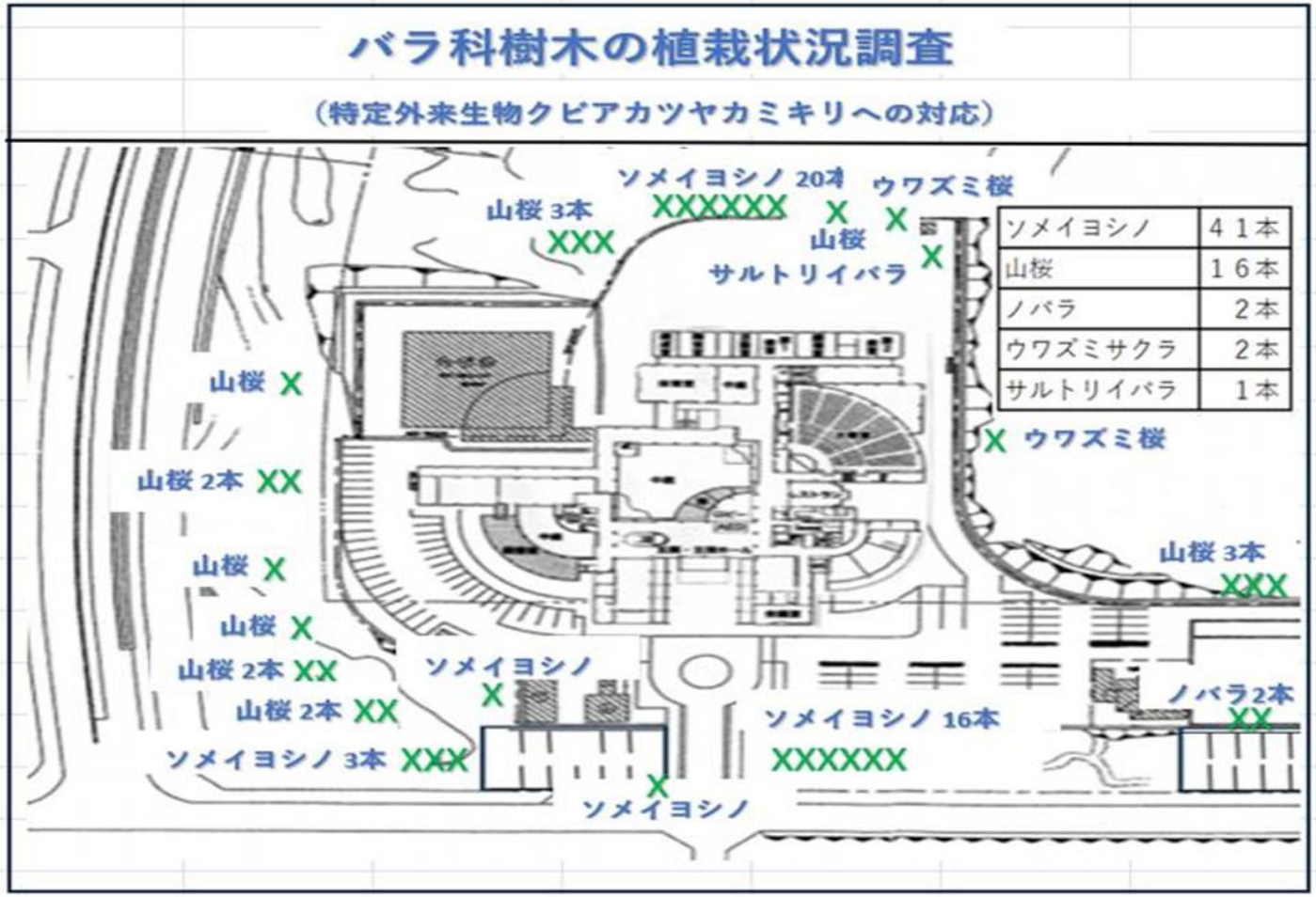
7. 定期教育・訓練

- 年１回の安全講習会を実施。
- 新規参加者には必ず安全指導を実施。

6.活動の様子　　4月

バラ科樹木の植栽状況調査

特定外来生物クビアカツヤカミキリの確認に伴う県からの要請対応



園芸クラブ部会　活動報告

6.活動の様子　　6月

校舎西側庭園





図書館横の中庭





園芸クラブ部会　活動報告

6.活動の様子　　7月

校舎裏駐車場の除草





校舎裏側石積み





おわり

ご清聴ありがとうございました